

一般質問通告事項【12月6日(水)】《3日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	1 4	議員名	細木 明美	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	1 2 月 6 日
質問項目	質問要旨					
1 松江市の水産振興と恵曇港の再開発について	(1) 「水産業の振興」について市長はどう考えているか。「儲かる水産業」に対する具体的な対策について問う。 (2) 今後どのようにして漁業者を守り、漁村を守っていくのか。また水産業の6次産業化についてどう考えているか。 (3) 鹿島・島根栽培漁業振興センターにおける「アワビ」種苗栽培等の事業の今後についてどう考えているか。 (4) 「松江産アワビ」の養殖・生産・販売についてどう考えるか。 (5) 松江市の「水産振興の拠点」「海と食の観光地」として、また島根半島地域の活性化につながる「恵曇港」を再開発する考えについて市長の見解を問う。					
2 地場産業の振興と地元企業への支援について	(1) 地域経済を支えてきた地場産業の振興をどう考えるか。 (2) 地元企業への支援の必要性をどう考えるか。					
3 道路維持管理の取り組みについて	(1) 半島地域における県道の災害復旧工事進捗の遅れに対して市長はどう考えるか。今後の対応についてはどうか。					
4 児童クラブについて	(1) 佐太児童クラブの現状と指導員の経験から思う、より良い児童クラブの在り方について、今後一緒に検討し取り組んでいきたいと考えるがどうか。					

順序	1 5	議員名	新井 昌禎	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	1 2 月 6 日
質問項目	質問要旨					
1 「選ばれるまち松江」を実現させるための方策について	(1) 日本全国で人口減少が進む中、松江が選ばれるということは、先人から受け継いだ全国に誇る文化や伝統に基づいたこの地域の魅力や価値を選んでいただくことだと思う。その地域に特別な魅力や価値があれば全国から人を集めることが出来る。松江には、プログラミング言語RubyやIT産業の集積があり、これらを核とした「IT技術者やロボット技術者を育てること」が松江の特別な魅力や価値になると考える。そのためにも、「Ruby City MATSUEプロジェクト」や「松江ファンクラブ事業」、「プロジェクト『まつえん人』」を更に深化させるべきと考えるが所見を伺う。					

一般質問通告事項【12月6日(水)】《3日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	議員名	新井 昌禎	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	1 2 月 6 日
質問項目	質問要旨				
2 未来を担う次世代“人財”を育てる取り組みについて	<p>(1) 松江市総合計画の4つの基本目標の一つ「人を大切に育てる」の中で、未来を担う“人財”をまち全体で育てる。特に、子どもたちや若者が学び育つ中で夢を描き、その実現にチャレンジできる環境整備に取り組むこととしている。基本施策「未来を担う次世代“人財”を育てる」の目標指標には、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が、現状値として小学校で84.4%、中学校で69.7%。目標値は小学校で90%、中学校で80%との記載がある。松江市内の児童生徒の全員が、将来の夢や目標を持てるように指導を行っていくべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(2) 松江に暮らすあらゆる世代が、自分自身の夢や目標に向かって果敢に挑戦し、お互いに応援し合う風土・環境を備えたまちへと高めていくためには、様々なことを独自に学ぶ環境として読書環境の整備が最も有効だと考える。読書環境日本一を目指した事業に取り組むべきと考えるが所見を伺う。</p>				
3 日本一交通事故の少ない県都松江を目指す取り組みについて	<p>(1) 尾道松江線の開通など道路網の整備により、マイカーやレンタカーなどを自分で運転し、市内各所の観光地を回られる方も増えている。日本一交通事故の少ない県都松江になるということは、市民の方だけでなく、観光で訪れた方にとっても安心して車を運転できることになる。一方で、市内には、変則的な交差点が多く有り、交通事故を誘発する要因にもなる。運転者に分かりやすい表示等の対策を検討すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(2) 今後、日本一交通事故の少ない県都松江を目指す取り組みを現実のものとしていくためには、市民のみなさんが日々経験したり見たりした「ヒヤリ・ハット体験」をビッグデータとして集約する仕組み（仮称：マツエおべたわマップ）を構築することについて検討していただきたい。更に、松江を訪れた観光客のみなさんからの指摘も集約する仕組みを追加することについても検討すべきと考えるが所見を伺う。</p>				

順序	議員名	橋 祥朗	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	1 2 月 6 日
質問項目	質問要旨				
1 中小・小規模事業者支援と「中小企業・小規模企業振興条例」制定について	<p>(1) 中小・小規模事業者数は減少傾向にあるが、松江市の業種別事業者数の推移と経営状況についてはどのように把握しているか伺う。</p> <p>(2) 中小企業・小規模企業の振興を目的とした条例は全国で広がり、県内では島根県が平成27年度に制定、市町では出雲市など3市9町が制定、江津市が来年4月制定予定、1市1町が検討中、3市1町が未定となっている。人口減少の中で、地域の活性化、維持のためにも、総合的な支援のために条例制定が必要と思うが、条例制定状況の調査と松江市の考え方を伺う。</p>				

一般質問通告事項【12月6日(水)】《3日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	1 6	議員名	橘 祥朗	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	1 2 月 6 日
質問項目	質問要旨					
1 中小・小規模事業者支援と「中小企業・小規模企業振興条例」制定について	(3) 中小企業・小規模企業の振興には商工会・商工会議所の組織強化が重要と考える。県内では商工会への加入が6割以上、商工会議所へは5割以上だが、松江市は松江商工会議所の組織率は27.3%と特別に低い。組織率の低さの原因や今後の取り組みについて伺う。					
2 所有者不明土地、家屋の実態について	<p>(1) 「所有者不明土地問題研究会」は、持ち主を特定できない土地が2016年は410万ha(九州相当)、このまま推移すれば2040年には780万ha(北海道相当)と推計し、国も対策に乗り出すなど報道されている。</p> <p>松江市は所有者不明の土地・家屋の実態調査は行っているか伺う。</p> <p>(2) 全国では所有者不明の土地・家屋が増えて公共事業の計画が変更される例が増えているとされているが、松江市でこれまでこのような例があったのか伺う。</p> <p>(3) 固定資産税の徴収率は高いが、所有者不明、または相続登記の不備などによる通知不能の状況はあるのか、実態を伺う。</p>					
3 八束町における「地域密着型特別養護老人ホーム」について	<p>(1) 八束町の「保健福祉総合センター」は、今年度、松江市の公募に応じた民間業者が建物の無償譲渡を受け、小規模の特別養護老人ホームとして、来年4月の開設を目指すこととなった。しかし内部の改装に入るとされた8月になっても何ら動きはなく、施設の管理にも住民から心配の声が支所にも寄せられる事態となっている。このままでは来年4月の開設は不可能と考えるが現状と今後の見通しについて伺う。</p> <p>(2) 「地域密着型特別養護老人ホーム」は、スケールメリットという点で運営には困難さが伴うと聞かすが、八束町で予定されている施設の類似規模施設の運営状況はどうか、伺う。</p> <p>(3) 「八束保健福祉総合センター」の建物、土地の管理が行き届きとなっており、周辺の雑草や道にはみ出した雑木などにより、人の通行にも支障が出て、支所や担当部局により対応していただいた。当面の管理はどうか伺う。</p>					
4 義務教育学校について	(1) 「義務教育学校・小中一貫」については、全国で「学校リストラ」「自治の基礎の小学校区の破壊では」など危惧する声広がっている。研究者の問題点の指摘や、全国各地での文科省言いなりの制度の導入反対の動きなどについて、どのように研究されてきたか伺う。					

一般質問通告事項【12月6日(水)】《3日目》

平成 29 年第 5 回松江市議会定例会

順序	16	議員名	橘 祥朗	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月 6日
質問項目	質問要旨					
4 義務教育学校について	<p>(2) 小中一貫校八束学園が義務教育学校となる。八束学園は校舎の建て替えに伴い、施設一体型・小中一貫校として、1年生から9年生まで生活を共にする制度が取り入れられた。しかし、小中一貫制度については地域やPTAに十分理解されているかといえそうとは言えない。</p> <p>ア 入学式は小学校入学時だけ、卒業式も中学卒業だけ、ギャップではなく気持ちを切り替えて中学校に進学するステップがなくてよいのか イ 発表会、体育祭も9年生まで一緒だと種目も限られる ウ 小学校では5・6年生が児童会を設置して、自治の体験とリーダーシップを身につけるといふ成長期の重要な体験が失われているのではないのか エ 教職員室は一つだが、様々な課題について教職員は共通認識をもたねばならないとされているが、1年から9年までの混在した教職員で、共通認識が持てて、目がいきとどいているのか オ 小学1年生から多感な中学3年生までが一緒で何の問題もないのかなど、寄せられている疑問について伺う。</p> <p>(3) 「義務教育学校」となることについて、八束学園では「これまでと同じです」という説明が役員にされたが、どのような説明をされたか、すべての父母や地域住民への説明や理解は不十分で、来年4月の開校を急ぐのは拙速ではないか。「義務教育学校」について、独自のカリキュラムが組めることが強調されているが、目的、他学園との関係で何の支障も起きないか伺う。地域に理解を求める必要はないのか、伺う。</p> <p>(4) この間の八束における「施設一体型・小中一貫」による学校運営が、過去の小学校、中学校が併設されていた時代と何が良くなったといえるのか、合わせて、現在の他学園、「施設隣接型・小中一貫校」、「施設分離型・小中一貫校」などと比較して、何が優れているといえるのか、八束学園のこの間の在り方をどのように総括しておられるのか、伺う。</p>					